

ヤツタネ!

9月議会で市民の陳情が全会一致で採択。国へ意見書を送付しました。

- * 基本報酬が引き下げられた訪問介護報酬の早期改善を求める
- * 民間保育士の退職共済に国費投入の継続を求める



林じゅん



9月議会で党市議団は、36議案のうち5議案に反対しました。2023年度決算については19件のうち2件に反対しました。問題点について詳しくは市議団HPをご覧ください。

賛否の分かれた主な議案、陳情 (○=賛成・可決、×=反対・否決)		結果	共産	自民	公明	創政	森山	川上	中島	鬼木	土田	國友	高成	前島	みらいえ
マイナンバーカード連携を進めるために戸籍にフリガナを記載する補正予算	議案	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
国保・後期高齢・子ども医療費助成で紙保険証を廃止することに関わる3条例	案	○	×	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○
大巡回廻山城跡周辺でのイノシシ銃猟による危険防止策を講じるよう求める	陳情	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
路面電車の駅前広場乗入、新アリーナ、自衛隊への名簿提供、有料ゴミ袋などの決算	決算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
苦田ダムのムダ温存で24年度からの水道料金値上げに道をつけた水道事業会計決算		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

森山・川上議員は会派「懐かしい未来」、中島議員は1人会派

レプリコンワクチン

10月からの新型コロナワクチン接種で一部使用される「レプリコンワクチン」について、2件の陳情が出されました。

陳情が主張する理由のいくつかに科学的見地から疑義があり、党市議団は賛成しませんでした。考え方や理由については、陳情討論の全文をご覧ください。(二次元コード↓)

党市議団は、ワクチン開発に関する十分な情報公開、接種するかしないかやどれを接種するかの自由の保障、後遺症等に関する支援の拡充と市としての相談窓口設置などを求めています。



「マイナ保険証」 なくても大丈夫！ 国保・後期高齢 2025年7月31日まで そのまま使える

協会けんぽ・各組合健保

最長25年12月1日までそ
のまま使える

重要
有効期限が切れる前に、それぞれの保険者から次の1年間使える
「資格確認書」が届いて、
2年目以降も期限内に次が届きます。

編集後記

総選挙で自公が過半数を割りました。自民党が裏金問題で非公認にした候補にも2,000万円を支給していたことを、日本共産党のしんぶん赤旗がスクープしたことの影響で間違ひありません。にもかかわらず日本共産党が議席

を減らしたのは残念です。引き続き、公約に掲げた賃上げと労働時間の短縮で自由な時間が保障される社会、高等教育の無償化で若者が安心して学べる社会、戦争にならない国際関係づくりなど、希望の持てる社会を目指していきます。

11月議会日程

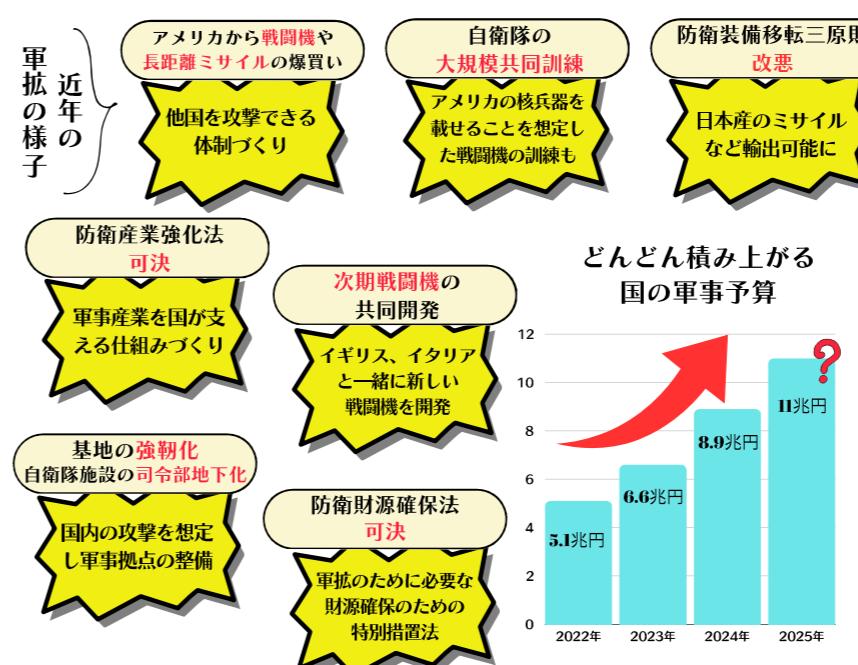
11/20水	請願・陳情締切	12/4水～9月	一般質問
11/25月	議会運営委	12/10火	常任委
11/28木	開会	12/12木	議会運営委
		12/13金	閉会

二許すな！ 戦争準備 国民保護計画

岡山市は「国民保護計画」を変更します。国内がN B C (核、生物、化学兵器) 攻撃されることを想定し、核攻撃などの避難先に民間施設を平時から指定するなどの対応を追加します。災害のための住民団体である自主防災組織も組み込み、避難などの協力を求めます。*

自公政権は集団的自衛権の行使を認め、軍事力拡大の動きを強めています。このもとで「国民保護計画」の改定は、自治体が戦争協力させられることにつながります。

(※日本が攻められていなくても自衛隊が米軍と一緒に他国を攻撃できる)



市や議会は、12月前後ごろから条例や計画について、市民の意見を募集します。

- * 困難女性支援計画
 - * 子どもの権利条例
 - * 特定盛土等規制区域などの指定
 - 他にも予定されています。
- みなさんのご意見をお寄せください。



国民保護計画って
しってる？

「外国からの武力攻撃や大規模テロ等に際して、岡山市が迅速・的確に皆さんを保護するために、避難や支援に関するなどをあらかじめ策定する計画」(岡山市HP)とされています。国民保護法等に基づき、自治体には次の事項などについて計画を策定することが義務付けられています。

- ・住民の避難や怪我人の救援
- ・遺体の搜索や収容、埋葬
- ・壊れた建築ガレキの撤去
- ・これらの訓練など

戦前、自治体は赤紙を配るなど国家の戦争体制に組み込まれてきました。その反省から、「地方自治」が日本国憲法に書き込まれ、自治体は住民の命と暮らしを守る砦となっていました。

党市議団が、「市民の安全と財産を守る岡山市として、国際紛争は対話によって解決することを国に求めよう」と議会質問しましたが、市は「防衛は国の専管事項」として何も言いません。戦争協力に道をひらくのではなく、戦争させない外交への転換を求める声をあげるべきです。



毎月第1～第4月曜日夕方に法律相談を行っています。

086-803-1707

(日本共産党市議団)

無料法律相談

要予約